

2025年3月発行

国際交流・留学生センター レポートVOL.3



視点をつくる、提言する
産業能率大学

目次

- 3** 国際交流・留学生センターとは
国際交流・留学生センター長挨拶
- 4** 留学生ガイダンス
- 6** 2024年度留学生会執行部
- 7** 留学生会活動報告01
私のふるさと
- 8** 産業能率大学×台湾銘傳大学
ダブル・ディグリー・プログラム
- 9** 留学生会活動報告02
第59回自由が丘産能祭模擬店出店
- 11** 海外留学説明会カナダ編2024
- 12** 留学生会活動報告03
異文化聞こう・話そう会
- 14** 銘傳大学日本教育センター

国際交流・留学生センターとは

国際交流・留学生センターは、大学の国際化を推進し、学生のグローバルな視野を広げるために設立されました。

当センターでは、外国人留学生の受け入れや支援、海外留学および海外インターンシップの促進を通じて、異文化交流を深め、学生の国際的な経験を豊かにすることを目指しています。

また、学生が多様な文化や価値観に触れ、国際的な視野を持つ人材として成長するためのサポートをしています。

活動内容

1

海外での学修成果の単位化の検討・企画・提案

2

国際交流・留学関連既存科目内容の見直し、ならびに新規科目案の検討・企画・提案

3

本学の国際交流活動・留学生支援活動の外部への情報発信と広報活動

国際交流・留学生センター長挨拶

この一年間、国際交流・留学生センターは皆様
の温かいご支援のおかげで、多くの成果を上げる
ことができました。

留学生が安心して学び、成長できる環境を提供
するために、日々努力してまいりました。

異文化交流イベントやサポートプログラムの充
実により、多くの留学生が新しい友人を作り、異
なる文化を理解し、豊かな経験を積むことができ
ました。

これらの活動は、留学生同士、留学生と日本人
学生のコミュニティの絆を強め、国際的な視野を
広げる貴重な機会となりました。

今後も引き続き、留学生が安心して学び、成長
できる環境を提供し、共に未来を築き、さらなる
発展を目指していきたいと思えます。



経営学部 教授 杉田 一真

留学生ガイダンス



4月

新入留学生ガイダンス

2024年度4月において本学には75名の外国人留学生在学、そのうち新入留学生は24名と昨年度の倍の人数となりました。さらに出身国も様々で、新たにアメリカ、ウズベキスタン、スリランカ、モンゴル、シンガポールの5ヵ国が加わり、全体では14ヵ国・地域の留學生が集まる多国籍な状況となりました。

4月には新入留學生を対象に、ガイダンスを実施しました。ガイダンスでは、外国人留學生の在留管理や生活指導を担当する国際交流課が、在留資格・在留管理に関する注意事項や、本学でのルール・マナー等について説明を行いました。

■対象：1年生

■形式：対面



7月

夏休み前ガイダンス

7月中旬に全留學生を対象に、夏休み前ガイダンスを実施し、夏休み期間中の注意事項や、一時帰国をする際に必要な手続きについて説明が行われました。

また、アルバイトの制限や、授業の出席状況・成績等、留學生が在留管理制度において気を付けなければならない点について改めて全員に注意喚起を行いました。

■対象：全学年

■形式：対面、ZOOM



本学の外国人留学生が安心・安全に暮らせるように、大学事務部国際交流課は、あらゆる角度から留学生をサポートしています。年数回にわたるガイダンスの実施も、その取り組みの一つです。

10月 後学期ガイダンス

10月下旬に全留学生に対して、後学期ガイダンスを実施しました。例年後学期に入ると大学生活に慣れる一方、留学生特有のさまざまな問題により授業を休みがちになる学生がみられます。特に1年生は2年次への進級関門があるため、履修上も在留資格上も授業出席が重要であることを強調しました。

また留学生が巻き込まれやすいトラブルについても、説明しました。中には知らないうちに犯罪に加担してしまうケースもあるため、具体的な事例を紹介し、注意喚起しました。

■対象：全学年

■形式：対面

産能は進級関門がある！



1年修了時に所定の **22単位**
入学時からの**通算GPA1.5以上**

**GPAが低い、
履修単位が少ない、**



次回のビザ更新に
大きな影響を与える。

①商品の受取役

配達商品を受け取り、
犯人が指定した場所に転送する。

②現金の引き出し役

他人のキャッシュカードを使って、
現金を引き出す。

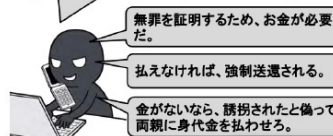
犯罪！

お？ なんだこれ
『誰にでもできる
簡単なアルバイトです
『送られてくる荷物を
受け取って指定の住所
に転送するだけ！』
『また、銀行ATMが
現金引き出しの代行
『それぞれ一件あ
3000円お支払い
いたします！』

③「大使館・警察等」を名乗る詐欺電話に注意

あなたの名義が不正に
使用されている。

こんな電話は詐欺！



もし、こんな電話がかかって
きたら、身近な人や警察に
相談しましょう！
警察相談ダイヤル
110
または最寄りの警察署へ

警 視 庁

巻き込まれやすいトラブル

本当？

⑥銀行口座の譲渡・販売

銀行口座（キャッシュカード・通帳）を他の人に
あげたり、売ったりすることは犯罪です。



⑧携帯電話を使いながら自転車禁止！



2024年11月から
道路交通法で禁止

飲酒運転
スマホ運転
最も重い処分
3年以下懲役
50万円以下罰金

2024年度留学生会 執行部

留学生会とは

「留学生会」とはSANNOに在学している外国人留学生を代表する組織で、入学と同時に留学生全員が入会します。毎年、会長をはじめとする執行部メンバーを中心に、学内外で国際交流イベントを企画しています。異文化の視野を広げ、有意義かつ楽しい大学生活を目指しています。

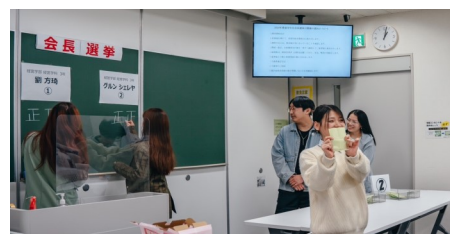
新会長選挙



毎年4月に行われる留学生会の新会長選挙。留学生会会長は、留学生会のリーダーとして、学内外の活動の企画・運営など重要な役割を果たします。そのため、本学の留学生全員に関わる大切な選挙です。

2024年度は2名が立候補し、大接戦の末、経営学部経営学科3年のグルン・シェレヤさん（ネパール出身）に決定しました。シェレヤさんは「皆さん投票いただき、ありがとうございます。これから留学生会を元気に頑張っていきたいです。皆さんと一緒にいろいろな活動やイベントをしたいと思います。」と決意表明しました。

会長選挙開票の様子



執行部キックオフ

新会長選挙後、執行部メンバーも決定し、5月中旬に初めての役員会が行われました。顔合わせとなる今回は、メンバーの自己紹介にはじまり、新会長から今後の活動計画などの説明がありました。新型コロナウイルス感染症が収束し、昨年から徐々に活動を再開し始めた留学生会。本学での留学生生活をより充実させるような活動を計画したい、というメンバーの意欲を感じるキックオフミーティングでした。

私のふるさと

開催日時：2024年6月25日(火)
～6月27日(木)

対象：本学外国人留学生、
教職員、日本人学生

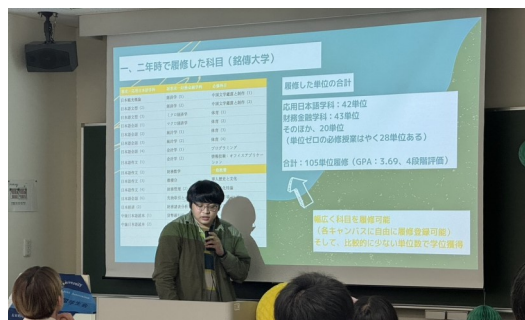
留学生による出身国・地域の「ふるさと」紹介イベント

2024年6月25日(火)から27日(木)の3日間にわたり、「私のふるさと」が開催されました。モンゴル、中国、ミャンマー、スリランカ、ベトナムの留学生9名が毎日交代で登場し、母国の地理・歴史や料理、おすすめの観光地などについて、日本語で紹介しました。

今回の発表者は全員1年生で、日本語での発表にとっても緊張しながら、イベント当日を迎えました。本番の発表は、民族衣装を着て登場したり、母国の音楽や動画を流して紹介するなど、どの国も参加者が楽しめるように工夫を凝らしていました。練習を重ねて本番に臨んだことがわかる発表ばかりで、会場全体が留学生の話に惹きこまれました。

また最終日には、特別ゲストとして台湾・銘傳大学からのダブル・ディグリー生が、ダブル・ディグリー留学制度について紹介しました。テーマのふるさと紹介ではありませんが、急遽飛び入り参加で、充実した留学生活について発表してくれました。

今回のイベントには、留学生や教職員だけでなく、3日間多くの日本人学生も参加し、興味深そうに発表に耳を傾けていました。学内の様々な人が参加し、その交流を通して異文化の視野を広げ、お互いに理解を深めることができ、イベントの目的を果たすことができました。





産業能率大学×



台湾銘傳大学

ダブル・ディグリー・プログラム

産業能率大学“初”のダブル・ディグリー派遣生、台湾へ出発

2024年8月31日(土)、産業能率大学初のダブル・ディグリー派遣生として、経営学部マーケティング学科2年の野々村 亘生さんが、台湾へ出発しました。野々村さんは9月より銘傳大学国際学部（基河キャンパス）で学びます。渡航前に野々村さんは「産能最初のダブル・ディグリー派遣生として、新しいことに挑戦する機会をいただき感謝しています。海外の学生と共に勉強し、国際レベルのアグレッシブさを身につけ、人間的に成長したいです。」と意気込みを語っていました。

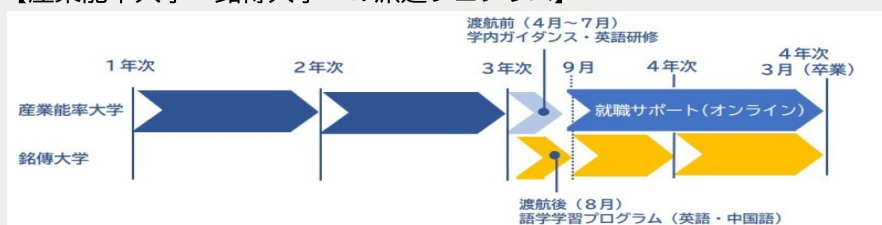
■ ダブル・ディグリー・プログラムとは？

産業能率大学と本学海外提携校である台湾・銘傳大学の両方で学び、両大学の学士号が取得できるプログラムです。本プログラムに参加し修了した場合、産業能率大学経営学部の「経営学士号」と銘傳大学国際学部の「国際企業・貿易学士号」の2つの学位が取得できます。

銘傳大学から本学への受け入れは、2022年9月より開始しました。受け入れる留学生は、銘傳大学の卒業要件（128単位）のうちの3分の2（85単位）を修得した学生で、本学では残りの3分の1に相当する単位を、2年間で修得します。

一方、本学から銘傳大学への派遣は、1.5年間のプログラムです。3年次後学期から4年次修了までの間に、銘傳大学国際学部の英語による科目を48単位以上修得する必要があります。そのため応募資格は、2年次修了時の成績や語学力などさまざまな条件を全てクリアし、さらに書類審査と面接による選考を通過した学生が本プログラムの派遣留学生となります。

【産業能率大学→銘傳大学への派遣プログラム】



銘傳大学ダブル・ディグリー第3期生の入学セレモニーを挙行

2024年9月10日(火)、自由が丘キャンパスにおいて、銘傳大学ダブル・ディグリー・プログラム第3期生の入学セレモニーが執り行われました。第3期生は、施 嘉佑（シ カユウ）さんと、石 翊均（シー イー ジュン）さんの男女2名です。入学式では、鬼木学長のお祝いの言葉に続き、引率として来日された銘傳大学応用日本語学科主任の王 佑心（ワン ユー シン）先生より、第1期生の受け入れ開始以来、ダブル・ディグリー生への本学の様々な支援に対する謝辞とこれから学ぶ第3期生への激励の言葉をいただきました。その後、上野俊一理事長から第3期生へ入学を祝して記念品が贈呈されました。第3期生の2名は、経営学部マーケティング学科で本学の学生とともに学びます。



第59回自由が丘産能祭 模擬店出店

開催日時：2024年11月2日(土) 対象：本学外国人留学生
～11月3日(日)

5年ぶりの出店、経験者ゼロから挑む！

2024年11月2日(土)・3日(日)に開催された、第59回自由が丘産能祭。留学生会は5年ぶりに模擬店を出店、「台湾ソーセージ」を販売しました。

2019年度までに37回の模擬店出店実績がある留学生会。これまで焼き小籠包やエビ春巻き、水餃子など留学生ならではの品物で出店し、一般来場者から好評を得てきました。コロナ禍を経て、このまま先輩たちが繋いできた伝統が途絶えるかと思われましたが、「皆で大学生活の思い出になる活動をしたい」という思いから、留学生会執行部は産能祭への参加を決定しました。



台湾夜市の定番“台湾ソーセージ”

今回販売するのは、銘傳大学からのダブル・ディグリー生の提案で「台湾ソーセージ」。台湾では香腸（シャンチャン）と呼ばれ、夜市などでよく売られている、大人から子どもまで人気の食べ物です。見た目はフランクフルトのようですが、味はまったくの別物。甘みが強く、台湾ならではの香辛料の風味もあり、日本人の想像を裏切る、まさに「異文化」の味です。

留学生会メンバーの中には食べたことがない学生も多く、事前に「試食会」を開き、日本人に馴染みのないソーセージを買ってもらうためには、どのように販売したらいいのか、調理方法やトッピング、食べやすい渡し方などを皆で意見を出し合いました。



おそろいのユニフォームで一致団結！

産能祭当日、留学生会はおそろいの赤いユニフォームを着て、店の前を通る来場者に「台湾ソーセージ、美味しいですよ〜！」と元気な声で呼び込みを行いました。その声と店頭で美味しそうに焼けるジューシーなソーセージに引き寄せられるように、多くのお客さんが買いに来てくれました。「孫にも食べさせたいくらい美味しい」と声をかけてくれたお年寄りをはじめ、味を気に入って何度も買いに来てくれるお客さんたちに、留学生たちはとても喜んでいました。

初日はあいにくの雨で出足の鈍い売れ行きでしたが、2日間で無事に目標数を販売し、皆が笑顔で産能祭を終えることができました。1年生のモンゴル出身の留学生は「模擬店参加の経験は初めてで、とても楽しかった。またやってみたいです。」と楽しそうに話してくれました。

留学生会活動の発展の契機に

今回は、模擬店の出店という目標をもとに、学年や国籍を超えて留学生同士が話し合い、協力し合って活動することを通して、留学生会メンバー同士の親睦を深めることができました。この関係が継続し、今後の留学生会の活動がさらに活発で有意義なものになることを期待しています。



海外留学説明会 カナダ編 2024

カナダ専門の留学エージェント・ENJOYCANADA（エンジョイカナダ）による「海外留学説明会 カナダ編 2024」が、2024年11月26日(火)に開催されました。本学では昨年に続き2回目の開催で、カナダ在住の、同社国際マーケティングマネージャー・三宅晶子さんをお招きして、カナダの魅力やどのような留学プランがあるのか等をお話いただきました。海外で活躍できる人材を求める企業が増え、留学に関心を持つ学生が増えていることもあり、説明会には多くの学生が参加しました。

説明会後には、個別相談会も実施。こちらも相談枠はすぐに埋まり、熱心に質問をする学生たちの様子が印象的でした。

【個別相談での相談内容】 ※()内は延べ人数

- ・留学の種類・パターンについて (4)
- ・留学費用(予算)について (3)
- ・語学力について (2)
- ・留学準備について (2)
- ・ビザについて (1)
- ・留学中の宿泊先について (1)
- ・治安など現地の最新動向について (1)



日本学生支援機構（JASSO）による最新の「日本人学生留学状況調査」で、コロナ禍を経て円安等による留学費用の高騰が留学のハードルになっている、と公表されたばかりでしたが（2024年10月公表）、個別相談会でも半分以上の学生が留学費用について質問していました。相談を終えた学生たちは、短期の留学にするなど経済的に可能な範囲で前向きに検討したいと話していました。



異文化間こう話そう会

開催日時：2024年12月11日(火) 対象：本学外国人留学生、
～12月13日(木) 教職員、日本人学生

日本語スピーチコンテスト

2024年12月11日(水)から13日(金)の3日間にわたり、留学生会主催イベント「異文化間こう・話そう会」が開催されました。このイベントは本学の外国人留学生が、社会や文化、言葉の壁を越えて、日常生活の中で感じていることなど、異文化を視点に自分なりのテーマをみつけ、日本語でスピーチをするコンテストです。今年は6組8名の留学生が出場しました。

様々な発表テーマに会場も興味津々

発表のテーマは、生活習慣や気候、家族観の違いや、クリスマス・正月など年中行事の過ごし方の違いなど様々。母国の文化と実情を、日本と比較しながら紹介してくれました。

ある留学生は、電話のかけ方の違いを実際にやってみせてくれ、日本人特有の仕草を指摘して不思議がる様子に、発表を聴いている日本人学生や教職員からも「確かに！」と笑いが起こりました。また、食文化を紹介してくれた別の留学生は、「母国でよく食べていた牛肉は日本では高価なため、鶏肉をよく買っている。鶏肉で母国料理を作るとあまり美味しくないように感じるので、最近は“唐揚げ”をよく作って食べている。」と教えてくれました。

このような身近な話題に、会場の参加者は、終始興味深く面白そうな様子で発表を聞いていました。



表彰式は大盛り上がり

最終日の12月13日（水）には表彰式が執り行われました。例年、スピーチの内容や、日本語の習熟度、話し方（パフォーマンス）をポイントに採点し上位3名を発表します。しかし、今年は多くの出場者が僅差の結果だったため、惜しくも上位を逃した発表者には、留学生会から特によかったところを称えた特別賞（「情熱スピーカー賞」、「笑いの渦賞」、「心に響くメッセージ賞」）が授与されました。

互いの健闘を称え合った交流会

表彰式後には、交流会が開かれました。お菓子や飲み物を片手に、教職員や日本人学生と、留学生とが交流を図りました。

鬼木学長から労いの言葉を掛けられた出場者は、貴重な機会にとっても嬉しそうな様子でした。中には、堂々としたスピーチをやり遂げた友人を見て、来年は自分もチャレンジしてみたいと話していた1年生の留学生もいました。

今回の活動は、留学生同士がお互いに刺激し合える良い機会になったようです。次年度も引き続き開催し、留学生会の伝統イベントとして「異文化聞こう・話そう会」を繋いでいきたいと思います。





銘傳大学日本教育センター

本学と姉妹校である台湾銘傳大学の日本教育センター（自由が丘キャンパス1号館5階）が、1月から本格的に始動しました。

センター内には、各国にある銘傳大学の教育拠点が記載されたロールアップバナーが展示され、同大学の各種資料が揃っています。また、ミーティングテーブル、テレビモニター、プロジェクター、ホワイトボードが完備されており、銘傳大学とのテレビ会議や映像資料の閲覧、来訪者とのミーティングなどが可能です。

1月からは同大の馮彦國氏が銘傳大学日本教育センター長に就任し、業務を開始しています。同センターでは、本学で学ぶ銘傳大学の学生（ダブルディグリー生）へのサポートや、本学学生への留学相談と情報提供、さらに日本における銘傳大学・台湾の情報発信などを行っています。

馮センター長は、「産業能率大学と銘傳大学との深く長い友情と交流の成果として、当センターが誕生したことを心から感謝申し上げます。両校が末永く繁栄するための拠点として、学生の成長につながるよう、情報提供とサポートを行って参ります。『銘傳大学や台湾の情報を知りたい』という教職員の皆さまもお待ちしておりますので、ぜひお気軽にお越しください」と意気込みを話されました。



馮彦國日本教育センター長



自由が丘キャンパス1号館5階の銘傳大学日本教育センター



